

ソフトウェアの知的財産権連続講座～基礎からクラウドまで～

講義内容*

*予定です

第1回 知財概論

1 知的財産法とは

- (1) 目的
- (2) 保護対象（規制対象）
- (3) 特徴

2 ソフトウェアの保護

- (1) 特許法：
発明性，特許要件，発明者性，職務発明，特許権侵害（直接侵害，間接侵害等の擬制侵害），救済
- (2) 著作権法：
著作物性，著作者，職務著作，著作権侵害（直接侵害，擬制侵害），救済，著作者人格権
- (3) 不正競争防止法：
営業秘密（秘密管理性，非公知性，有用性），不正利用行為，救済

3 商標等の表示の保護

- (1) 商標法：
商標の登録要件，商標権侵害（直接侵害，間接侵害等の擬制侵害），救済
- (2) 不正競争防止法：
商品主体等混同行為（商品等表示，周知性，類似性，混同），著名表示冒用行為（著名性），救済

4 デザインの保護

- (1) 意匠法：
意匠性，登録要件，意匠権侵害（類似の意匠，直接侵害，間接侵害），救済
- (2) 著作権法：
実用品（応用美術）の保護
- (3) 不正競争防止法：
商品形態模倣行為（商品形態，機能を確保するために不可欠な形態，模倣），救済，請求主体

5 真正商品の利用，並行輸入

- (1) 特許法：
消尽理論と修理行為，並行輸入と特許権侵害
- (2) 商標法：
商標機能論と真正品の利用行為，並行輸入と商標権侵害

6 その他の知的財産法